

令和4年9月（第6回）教育研究評議会議事要旨

日 時 令和4年9月14日（水）13:30～14:59
場 所 本部棟第一会議室（ウェブ会議システム「Microsoft Teams」を併用）
出席者 37/38
欠席者 高瀬教育学研究科長（代理出席：西山同副研究科長）、木村農学部長（代理出席：宮竹同副学部長、上田グローバル・ディスカバリー・プログラムディレクター（代理出席：石田同副ディレクター）、横井上席副学長

○ 前回議事要旨の確認

令和4年7月開催（第4回）の議事要旨について、原案のとおり確認された。

○ 議 事

1 審議事項

（1）諸規則の改正について

高橋理事から、資料1に基づき、令和4年10月1日施行の以下の就業規則の一部改正について、改正内容と改正理由の説明があり、承認された。

- ① 国立大学法人岡山大学職員就業規則
 - ・教員免許状更新講習廃止に伴う所要の改正のため
 - ・クロス・アポイントメント手当の新設のため
 - ・附属幼稚園教育体制支援手当の新設のため
 - ・育児参加休暇の取得要件緩和のため
 - ・出生時育児休業制度の新設のため
- ② 国立大学法人岡山大学再雇用職員就業規則
 - ・教員免許状更新講習廃止に伴う所要の改正のため
 - ・出生時育児休業制度の新設のため
- ③ 国立大学法人岡山大学非常勤職員就業規則
 - ・育児参加休暇の取得要件緩和のため
 - ・出生時育児休業制度の新設のため
 - ・附属幼稚園教育体制支援手当の新設のため
- ④ 国立大学法人岡山大学医員等職員就業規則
 - ・育児参加休暇の取得要件緩和のため
 - ・出生時育児休業制度の新設のため
- ⑤ 国立大学法人岡山大学契約職員就業規則
 - ・出生時育児休業制度の新設のため

（2）岡山大学における地球温暖化対策に関する実施基本方針の改正について

学長（カーボンニュートラル戦略本部長）から、本議題は、カーボンニュートラル戦略会議の議題としても兼ねて審議を行う旨発言があった。

続いて、袖山理事（カーボンニュートラル戦略本部・環境マネジメント部門長）から、資料2に基づき、「国立大学法人岡山大学における地球温暖化防止に関する実施基

本計画」については、環境マネジメント委員会で審議決定し、これを大学の方針として公表しているところであるが、同委員会で、政府実行計画を踏まえて作成した改定案について説明があり、審議の結果、承認された。

続いて、阿部理事（カーボンニュートラル戦略本部・副本部長）から、資料2に基づいて、令和4年4月にカーボンニュートラル戦略本部を設置したが、推進計画がまだ不十分であることから、各部門の推進計画を年内に取り纏めるように依頼があった。また、教育・人材育成部門と研究部門でどういった推進計画ができるかについて、補足資料に基づいて、政府の脱炭素先行地域計画における大学が関与している事例や北陸先端科学技術大学院大学におけるカーボンニュートラル研究センターの設置、名古屋大学におけるJSTプログラム「OPERA」等の事例の紹介があった。続けて、「カーボンニュートラル達成に関する大学等コアリション」において本学は「地域ゼロカーボンWG」に参加登録していること、また、各WG横断的活動の「出口」を支える財政支援プログラムとして、JSTの「共創の場形成支援プログラム」の中の「政策重点分野」にカーボンニュートラルの分野を設ける提案を検討しており、参加大学に対し、9月末までに共同プロジェクトの企画提案の依頼があった旨説明があり、積極的に提案いただきたい旨発言があった。

(3) 学生の懲戒処分について

舟橋理事から、資料3（机上配付資料）に基づき、学生の懲戒処分1件について提案があった。続いて、関係部局長から補足説明及び今後の対応策について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

2 報告事項

(1) 役員執行部体制について

学長から、資料4に基づき、8月16日以降の役員行部体制の変更について報告があった。

(2) 医歯薬学総合研究科博士課程及び環境生命自然科学研究科の改組に係る事前相談の結果について

高橋理事から、資料5に基づき、医歯薬学総合研究科博士課程及び環境生命自然科学研究科の改組に係る事前相談の結果について、大学設置審議会における審議の結果、特に意見を付されることなく設置が可となったことについて報告があった。

(3) 令和5年度概算要求について

袖山理事から、資料6に基づき、文部科学省から財務省への令和5年度の概算要求の状況について説明があった。続けて、本学の概算要求の概要について、基幹運営費の状況のほか、ミッション実現加速化経費の教育研究組織改革分として、新規に要求した3件のうち2件（「地域中核研究大学に新たな教育基盤を築く大学院共育共創センターの新設」及び「国際構造生物学研究センターの組織整備」）、共通政策課題分（基盤的設備等整備分）として、新規に要求した6件のうち3件（「デジタル双方向キャストによる微小材料のメカニカル特性分析システム」、「疾患予防と健康維持を实

現するヒト細胞マルチモーダル解析システム」及び「単一細胞に基づくタンパク質の機能・構造解析システム」) 等が財務省へ要求されたこと及び施設整備概算要求事業について、本学から重点事項として要求した全項目についてSの評価を得ていることについて報告があった。

3 その他

(1) 次回開催日について

今回は、10月19日(水) 13時30分から開催することとなった。

以上